

一般質問

・コミュニティ活動について



名波和寛

問

町内会の未加入世帯が多いのは、御前崎市にとって深刻な問題です。日頃のつながりがないために、緊急避難時に統率のとれた行動が出来ないばかりか、助け合うことも困難になります。昨今は、連絡網も途絶えているため、重要な行事さえも見逃してしまいます。町内会活動にも混乱をきたすこととなります。さらに、コロナ禍で町内会行事、コミュニティ活動もことごとく中止になり、人間関係は以前より希薄になっていきます。これらの現状を踏まえ、市長の考えを伺います

答

地域の皆さんにとって身近なコミュニティ活動は、町内会活動への参加であると思えます。町内会では、環境美化活動、防災訓練、さらには、夏まつりや運動会など、地域の皆さんの交流や親睦を深めるコミュニティ活動を行っています。

しかしながら、ライフスタイルや価値観の多様化、また単身世帯の増加などを要因に、地域住民が

触れ合う機会は減少をしています。さらに、新型コロナウイルスの感染拡大は、人と人との接触を制限し、町内会のさまざまな活動が自粛や中止となり、地域のコミュニティ活動は停滞してしまいました。

反面、このような活動が制限されていた期間は、地域のコミュニティ活動のあり方や必要性を検討する機会にもなったのではないかと思います。

新型コロナウイルスの感染拡大から3年目になりましたが、感染対策を講じたうえで、各地でさまざまなイベントが開催されています。

誰もが気軽に参加できる居場所づくり、また人と人がつながり、安心して暮らせる環境づくりのためにもコミュニティ活動は大変大切であると考えます。

一般質問

・レベル2津波の避難対策について



二俣秀明

問

掛川市では海岸の保安林が低い所に防潮堤を造成しました。御前崎市の対応を伺う

答

令和2年12月議会での答弁の通り、津波の想定が高く防潮堤が大きくなり、保安林の幅も狭く整備費も莫大となるなど課題も多いため、検討は継続していきますが、引き続きソフト対策の充実に努めます。本年度は、池新田、高松地区を対象に南海トラフ地震への防災対応について、住民参加型のワークショップやアンケート調査を予定しています。

問

津波の減災のために国道150号以南の保安林の保全管理も重要です。また保安林を避難山のように山道が設置できるか

答

2年ほど前から急激に松くい虫被害が多くなり、昨年度は4,322本を伐倒駆除しましたが、まだすべて処理できていません。10年以上前からボランティア植樹を新神子区・合戸町内会で行っていただいています。これまでに約1万本の植樹をし、本

問

年度は塩原町内会や中町保全林管理組合で植樹を計画中です。山道については、保安林は森林法で「形質変更許可」の要件を満たせば山道の許可はできると考えますが、許認可は県になります。

問

国道150号の4車線化に伴い、高松地区は南北に限られた道路に避難が集中されると思われますが、その対策について伺う

答

国道150号の4車線化に伴い信号機が新たに設置または移設される交差点に接続する市道について、避難車両が円滑に北上できるよう2車線化拡幅工事を行っており、本年度は市道101号線を予定しています。また、現在信号機のない御手洗川交差点の信号機の設置について、地元役員の方と菊川警察署へ要望書を提出させて頂きました。今後も国道150号から北上する通行の分散化や南北への通行の利便性の向上に向け、最大限努力してまいります。